

教員の資質向上を支える国の役割

更に検討を要する論点 (教員の資質能力向上特別部会)

長 南 博 昭

【財政支援】

- 財政支援は、できるだけ絞りこんで、必要なものだけにすることが大事である。
- 財政支援は、研修の内容までも含めて、総時間数とかを規定することになる場合が多いので、ある程度の財政支援にする必要がある。
- 国家資格としての試験を実施することになるわけであるから、財政支援はその部分に使った方が理にかなっている。

【教員研修センター】

- 研修内容をしっかり吟味・検討し、新しい仕組みでは、一般免許状か専門免許状に対応した内容と仕組にする必要がある。
- 受講者は、年齢を限定して本人の自主性を尊重する仕組にしたらどうか。これまでは、どこで決まったのかがよく分からないことが多かったのではないか。

【国家資格化】

- 教員免許を国家資格とした場合、認定試験の実施には大変な時間がかかることが予測できる。しかし、教員免許を国家資格にすることは、妥当な線であり是非必要なことである。
- このことによって国としての教員のレベルが分かるわけであり、もちろん、大学にとっても慎重な対応が求められる結果となる。
- 現在の日本のように、こんなに教員免許状を容易に取得できるところがあるでしょうか。専門職である教員免許所有者がこんなに多くて良いのだろうか。教員免許が取得できる大学の数を減ずる必要があるのではないか。
- そうすることによって、教員の資質能力の向上が期待できるのではないか。
- 日本の教員免許状は、あまりにも容易なものである。このことの解決が資質能力向上の最善策ではないか。